

CASBEE® - 建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)マスコ製紙(株)新工場 新築	階数	地上3階
建設地	静岡県富士宮市黒田字南部谷戸33	構造	S造
用途地域	法22条地域	平均居住人員	0人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,160時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年9月 予定	評価の実施日	2021年2月5日
敷地面積	2,363㎡	作成者	望月 政司
建築面積	1,463㎡	確認日	
延床面積	4,059㎡	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.3 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.5

LR のスコア = 3.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.3

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.5

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
周辺環境を壊さず、より良い環境となよう全体計画を行った。 室内環境の向上、更新制の向上にも努めた。		0
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
空調ソーニングを適切に行い、冷暖房の選択・個別制御による省エネ効果を図った。	間仕切りを極力減らし、階高・空間にゆとりを持たせることで更新に対する自由度を確保した。	周辺環境に配慮し、まちなみとの調和を図った。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
環境負荷低減を回り、照明器具はすべてLED照明とした。 BEIm=0.15	節水コマを使用 冷媒にODP=0のR410Aを使用。	CO ₂ 排出率56% 光害対策ガイドラインを元に屋外照明の計画を行った。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される